

令和6(2024)年度現地調査におけるユニットセンター意見一覧

参考資料3

		意見	指標への反映状況	
評価指標の見直しに 関わる意見	フォローアップ状況 (回収率の評価について等)	地域差の考慮	回収率は県民性が影響している可能性もあり、数字以外の観点も評価視点としてほしい。(札幌SUC) 回収率には県民性が影響している可能性も考慮してほしい。(甲信UC・山梨大) 地域の特性で回収率に差が出る。回収率を高める取組や勧奨の取組など数字では見えない部分を評価して欲しい。(熊本大SUC)	反映せず 反映せず 反映
		取組みや工夫への評価	回収率を上げるためにさまざまな取組をしている。回収率の向上に結びつかなかったとしても、取組や工夫そのものを評価してほしい。(甲信UC・山梨大) ハガキや動画作成に多くの時間を割いており、以上のような営業的な活動についても評価してほしい。(愛知UC)	反映 反映
		回収率の高低に関する評価の継続	参加者に対するリマインドの有無等、数字以外も評価してほしい。(南九州・沖縄UC)	反映
		その他の意見等	今後も回収率の高さを評価項目に入れてほしい。(甲信UC・信州)	反映
			サイレントの方々は回収率の低下につながるため、母数から省くことも考えられる。(宮城UC)	検討継続
			1UCあたりが担当する対象者数に比例した評価軸で評価してほしい。抱える対象者数が多いければ回収率の維持はその分大変である。(宮城UC)	反映せず
			回収率が非常に高かった震災直後のような特殊な事例と、現在の質問票の回収率との差分とで評価するのは避けてほしい。(福島UC)	反映せず
			電話を掛けたなどのアウトプット評価は評価項目に入れず、取組によって得られた成果を評価していただきたい。(甲信UC・信州大)	反映せず
			評価指標にWeb質問票の回収率が加わると、紙質問票の回収率が高い水準にあるUCは評価が低くなることが懸念される。(愛知UC)	検討継続
			Web質問票の回収状況の評価については絶対的な数値の変化も年次評価で示してほしい。(愛知UC)	検討継続
			今後は、13歳以降の参加率が評価指標になっていくのではないか。(鳥取UC)	検討継続
	業務全体の取組状況 (PDCAの取組の評価について)	各種意見等	評価項目となるPDCAの取組を増やしてほしい。(甲信UC・信州大)	反映

		意見		指標への反映状況
評価指標の見直しに 関わる意見 (続き)	エコチル調査の成果の評価について	各種意見等	ネガティブデータが多いことから、論文がアクセプトされにくい。(千葉UC)	反映せず
			社会貢献としてどのような活動をしているのかを評価してほしい。(甲信UC・山梨大)	反映せず
			中心仮説の論文数が多いことを評価して欲しい。(九州大SUC)	反映せず
	エコチル調査ルールの遵守及び 管理状況について	各種意見等	報告遅延やインシデントを減点方式にしないでほしい。(宮城UC)	検討継続
	その他、評価について	各種意見等	参加者が多い場合は、それに応じて評価をプラスしていただきたい。(宮城UC)	反映せず
			常に90点以上の仕事をしている自負があり、それを適切に評価していただきたい。(福島UC)	反映
			エコチル調査に協力してくださる地域関係者のモチベーションが下がらないような評価してほしい。(福島UC)	反映
			減点制は控え、各UCの良い部分に加点していく方が(エコチル調査全体で)結果が伸びていく。(甲信UC・信州大)	検討継続
			どのような予算の使い方をしているかについて、評価してほしい。(甲信UC・信州大)	反映せず
			数値的評価がわかりやすいため、そのような仕組みを作ってほしい。(鳥取UC)	検討継続